

2015年3月26日

福島駅が「エコステ」モデル駅としてオープンします

JR東日本では、省エネルギー・再生可能エネルギーなど様々な環境保全技術を導入する取組み「エコステ」を実施しています。

仙台支社では、福島駅を「エコステ」モデル駅とし、昨年10月から工事を行ってきましたが、このたび工事が完了し4月5日(日)から使用開始することとなりました。

これを記念してオープニングセレモニーを開催しますので、お知らせ致します。

1 福島駅「エコステ」オープニングセレモニーについて

- (1) 会場 福島駅2階 新幹線コンコース内「再生可能エネルギー情報館」前
- (2) 日時 2015年4月5日(日) 10:00~10:30
- (3) 列席者 福島県生活環境部長
福島市副市長
弊社 福島駅長、仙台支社企画部長
- (4) 内容 主催者挨拶 福島駅長
来賓挨拶 福島県生活環境部長 福島市副市長
エコ表示盤除幕

2 JR東日本グループ会社の取組みについて

福島駅「エコステ」に併せてJR東日本グループ各社では、環境に配慮した取り組みとして、駅ビル屋上並びに壁面の緑化や、駅ビルの通路・駐車場の照明及び駅構内の自動販売機の照明をLED化にするなど省エネを推進しております。

参考

【エコメニュー】

1 太陽光発電設備

(1) 軽量型太陽光パネル(約1,700㎡)

新幹線上家に通常よりも軽いタイプの太陽光パネルを設置しています。

(2) 有機薄膜太陽電池(約20㎡)

乗換こ線橋の南側窓部に有機薄膜太陽電池を設置しています。これは、弊社とジェイアール東日本コンサルタンツで共同試験していたものです。

(3) 従来型太陽光パネル(約300㎡)

福島駅東口側NHK脇に太陽光パネルを設置しています。

(4) 蓄電池(2箇所)

太陽光発電設備で供給された電力を蓄電池に蓄えて、停電時に利用します。

発電した電力は福島駅で使用する電気に利用します。

2 地中熱ヒートポンプ(1基)

ピポット駐車場内に地下約130mの深さへ配管を通し、水を循環させ、地中熱をヒートポンプ技術により熱交換し、新幹線コンコース内の待合室空調に利用します。

3 LED照明(約380灯)

新幹線コンコース内の照明をLED化にしています(非常灯・誘導灯は除きます)。

4 電気自動車充電器(1基)

東口広場に機器を設置して、社用車に利用します。

5 エコ表示盤(3台)

新幹線コンコース内待合室・再生可能エネルギー情報館・東口改札口に表示盤を設置し、エコステの取組みを表示します。

